

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル美浦（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が固定化されないよう、職員間でアイデアを出し合い毎日の活動内容を計画している。	月ごとのイベントカレンダーを作成し、保護者へ内容等の通知を行っている。また、活動内容についても限られたスペースで取り組めるよう日々検討を行っている。	安全についてもより配慮し、活動内容の計画や実施を行っていく。
2	こどもや保護者のニーズ、課題等を管理者、児童発達支援管理責任者をはじめとするスタッフ全員で共有したうえで個別支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。	児童の発達や特性に応じた個別的な課題について、支援方法などを職員間で検討、共有をしたうえで支援を行っている。	職員間での情報共有をより密に行い、児童の小さな変化等を見逃さない体制づくりを行っていく。
3	通信やホームページ・SNS等を通じて、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報などを保護者へ発信することが出来ている。	HUGや月次のイベントカレンダーなどを通して、保護者へ発信している。また、活動の広報としてブログを毎日投稿している。	ブログの内容をより充実化させ、各ツールを活用し分かりやすく多くの情報を発信していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の構造上、療育室の中心に柱があり、また個室やパーティションがない造りとなっているため、安全確保の課題や窮屈さがある。	建物の構造上そのような作りになっているため。	壁紙の色を工夫し、開放感が感じられるような雰囲気することや、クッションマットなどを設置しより安全に配慮した環境整備や動線の確保などを行っていく必要がある。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	意図的に地域や他のこどもと関わるような企画等が少なく、事業所内で行う活動が多くあるため。	地域のイベントに積極的に参加することや、地域を巻き込んだ活動を企画し、周知していくことが必要であると感じる。
3	保護者に対して、定期的に面談や子育てに対する助言等の支援を行う機会が少ない。	定期的に相談を行える場面設定やアナウンスに不足があるため。	保護者会などの機会を有効活用し、保護者と面談や相談等を行うことを定着化していく。また、保護者の相談に応じられるよう職員一人ひとりの専門性を高めていく必要がある。